



田産振 第236号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

田野畑村長 上 机 莞 治



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

薫風の候、貴職におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、日頃から道路整備の推進につきまして、特段のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

田野畑村は、岩手県北部沿岸に位置し、豊かな自然資源に恵まれ、人（将来を担う人づくり）、環境（自然と共生する村づくり）、安心（安全で安心な村づくり）、交流（産業が元気な村づくり）の4つを村づくりの重点施策に掲げております。

しかしながら、公共交通機関に恵まれず道路整備の立ち遅れから日常生活に地域間格差が生じ、地域経済の縮小や地域活力の低下が懸念されているところであります。

つきましては、道路網の整備に関する中期計画につきまして、別紙のとおり意見を申し上げますので、ご理解頂きぜひ実現されますようお願い申し上げます。

中期的な計画の作成にあたっての意見について

1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

第一に、三陸沿岸地域のネットワークが繋がっていない高規格道路の整備による安全で豊かな暮らしの実現であります。

本村の地理的条件から、県庁や物流拠点である東北自動車道のインターチェンジまで車で2時間半、高次医療施設や高等教育機関の整っている市部へ1時間を要する実態にあり、救急患者の救命率の向上や農林水産物、乳製品の配送圏の拡大等教育、医療の充実、産業振興とともに、近い将来、高い確立で発生が予測されている地震・津波への備えとして、早急に高規格道路の整備促進を図る必要があります。

又、財団法人 JTB から日本一の海岸美と評価されている陸中海岸国立公園の北山崎を擁する田野畑村は、観光を核とした産業の振興や体験観光の推進による地域振興を推進しておりますが、観光アクセスの向上が大きな課題となっております。

つきましては、これらの課題を克服する上で欠かすことができない最重要路線である高規格幹線道路及びこれと連携する地域高規格道路に対して、地域住民が大きな期待をしているところであり、一日も早い完成を望むものであります。

次に、高規格道路とアクセスする道路網の整備であります。

日常生活や産業活動に伴う移動を自動車に依存せざるを得ない当地域においては、村内の生活道路や隣接町村、高速道路を結ぶアクセス道路の整備とともに、小中学校の統合や高等学校の再編に伴う通学の利便と安全確保が地域住民から強く求められています。

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきことについて

2033年までの発生確率が99%とされる宮城県沖地震が発生した場合、岩手県の被害想定調査によると本県の被害は、最悪で死者は1,000人に達し、全壊建物が4,600棟に上る可能性が想定されているところであり、沿岸を走る国道45号は、各地で分断され、沿岸部の険しい地形から大型車が通行できない迂回路が多く、災害復旧資器材の投入や多くの重症患者の移送が困難を極めることは明白であります。

つきましては、津波被害への早急な対応を図るため、三陸沿岸部の高規格道路ネットワークが災害復旧時の緊急輸送道路としての機能を十分発揮できるよういわゆる高規格道路ネットワークの中抜け区間の評価を高くし、早急に整備していただきたい。

3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関することについて

人口が多く交通量の多い都市地域の道路整備は、優先されるべきではありますが、今後の道路政策や維持管理につきましては、これまでの道路整備の遅れから、あらゆる面で不便を強いられ、耐えてきた地域住民の心情を反映していただきたい。